2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月4日

上場会社名　イサム塗料株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4624　URL http://www.isamu.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 北村　倍章
問合せ先責任者　(役職名) 総務部長　(氏名) 糸洲　治夫　TEL 06-6453-4511

半期報告書提出予定日　2026年11月10日　配当支払開始予定日　2026年12月10日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	4,397	7.6	660	73.8	748	62.3	508	58.4
2026年3月期中間期	4,086	1.2	380	30.5	461	29.4	321	29.6

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　710百万円　(80.0%)　2026年3月期中間期　394百万円　(57.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	266.63	―
2026年3月期中間期	168.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	22,799	19,138	82.1	9,818.25
2026年3月期	21,886	18,479	82.5	9,475.37

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　18,708百万円　2026年3月期　18,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	25.00	―	25.00	50.00
2027年3月期	―	25.00			
2027年3月期(予想)			―	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,090	8.2	1,060	15.8	1,240	15.1	870	15.2	456.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	2,000,000 株	2026年3月期	2,000,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	94,611 株	2026年3月期	94,571 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	1,905,409 株	2026年3月期中間期	1,905,507 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P．3「1．当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中東情勢による原油の供給不安や米国の通商政策、自然災害による影響に注視が必要であるものの、企業収益は改善の動きがみられました。個人消費、設備投資に持ち直しの動きが、雇用情勢には改善の動きがみられ、景気全体は緩やかに回復しております。

一方で世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直しが続いていますが、中東情勢による不透明感や欧米における高い金利水準に伴う影響、物価上昇・高止まり等による下振れリスクがあります。わが国においても、原油をはじめとする原材料等の供給不安やエネルギー価格の高止まり、企業物価指数や消費者物価指数の高止まり、自然災害の影響により、消費マインドの動向には留意が必要な状況で、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、原材料調達に不安があるなかでも製品の供給安定化に向けて最大限の努力を行い、既存顧客を最大限にフォローするための営業活動を展開いたしました。自動車補修用市場をはじめ、大型車両分野や工業用分野、建築用塗料などにおいて、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料の確実な供給に努めました。また、中東情勢の不安等により、前期末より当期初にかけての買い込み需要に可能な限り対応しつつ、原材料の価格上昇分を販売価格に転嫁したことにより、増収増益となりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は、43億97百万円（前年同中間期比7.6%増加）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は6億60百万円（前年同中間期比73.8%増加）、経常利益は7億48百万円（前年同中間期比62.3%増加）、親会社株主に帰属する中間純利益は5億8百万円（前年同中間期比58.4%増加）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①塗料事業

売上高は43億46百万円（前年同中間期比7.7%増加）、営業利益は6億37百万円（前年同中間期比78.5%増加）であります。

②その他

売上高は51百万円（前年同中間期比0.0%減少）、営業利益は23百万円（前年同中間期比0.2%増加）であります。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は9億13百万円増加、負債は2億55百万円の増加、純資産は6億59百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金8億70百万円、商品及び製品2億28百万円、減少の主なものは、受取手形及び売掛金1億71百万円、有価証券1億円であります。

負債の増加の主なものは、電子記録債務1億57百万円、繰延税金負債89百万円、買掛金74百万円、減少の主なものは、未払金92百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金4億60百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億70百万円増加し、53億31百万円(前年同中間期34億5百万円）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、6億96百万円（前年同中間期3億93百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では、税金等調整前中間純利益7億48百万円、仕入債務の増加2億75百万円、売上債権の減少1億71百万円、減価償却費1億12百万円、減少した資金では、棚卸資産の増加3億33百万円、法人税等の支払額1億78百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、5億29百万円（前年同中間期4億円の減少）となりました。

その主な要因は、増加した資金では、有価証券の償還による収入7億円、減少した資金では、有形固定資産の取得による支出1億60百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、55百万円（前年同中間期60百万円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額48百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月５日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,471,365	5,341,062
受取手形及び売掛金	2,323,340	2,152,604
有価証券	1,599,867	1,499,955
商品及び製品	936,263	1,164,357
仕掛品	182,505	204,105
原材料及び貯蔵品	291,752	375,422
その他	73,834	113,033
貸倒引当金	△2,514	△2,268
流動資産合計	9,876,412	10,848,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,147,161	3,185,531
減価償却累計額	△2,152,630	△2,189,193
建物及び構築物（純額）	994,531	996,338
機械及び装置	924,799	935,112
減価償却累計額	△740,023	△766,638
機械及び装置（純額）	184,776	168,474
工具、器具及び備品	819,845	833,065
減価償却累計額	△611,149	△644,358
工具、器具及び備品（純額）	208,696	188,707
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	71,865	71,865
減価償却累計額	△62,766	△65,957
リース資産（純額）	9,099	5,908
建設仮勘定	7,070	―
有形固定資産合計	2,748,639	2,703,894
無形固定資産		
ソフトウエア	39,857	29,233
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	681	367
無形固定資産合計	47,093	36,155
投資その他の資産		
投資有価証券	6,794,058	6,777,491
長期預金	1,900,000	1,900,000
保険積立金	433,754	445,103
繰延税金資産	60,646	63,431
その他	24,936	24,523
投資その他の資産合計	9,213,394	9,210,548
固定資産合計	12,009,126	11,950,597
資産合計	21,885,538	22,798,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	374,952	449,103
電子記録債務	1,083,043	1,240,037
リース債務	6,211	3,398
未払金	251,227	159,470
未払法人税等	190,469	251,210
未払消費税等	78,451	44,718
前受金	6,882	4,423
預り金	67,089	72,537
賞与引当金	128,022	134,577
その他	89,033	91,350
流動負債合計	2,275,379	2,450,823
固定負債		
リース債務	4,586	3,533
長期預り保証金	294,292	296,309
繰延税金負債	62,243	150,880
役員退職慰労引当金	136,233	130,382
修繕引当金	135,000	138,750
退職給付に係る負債	498,530	490,115
固定負債合計	1,130,884	1,209,969
負債合計	3,406,263	3,660,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,214,485	1,214,485
利益剰余金	15,039,277	15,499,690
自己株式	△181,016	△181,166
株主資本合計	17,363,146	17,823,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	691,491	884,170
その他の包括利益累計額合計	691,491	884,170
非支配株主持分	424,638	430,496
純資産合計	18,479,275	19,138,075
負債純資産合計	21,885,538	22,798,867

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,085,818	4,396,874
売上原価	2,770,335	2,773,962
売上総利益	1,315,483	1,622,912
販売費及び一般管理費	935,908	963,070
営業利益	379,575	659,842
営業外収益		
受取利息	6,403	9,706
有価証券利息	22,278	26,562
受取配当金	19,074	22,484
受取賃貸料	26,613	26,853
貸倒引当金戻入額	7,892	247
その他	4,451	4,928
営業外収益合計	86,711	90,780
営業外費用		
支払利息	109	109
支払補償費	4,886	2,393
その他	434	355
営業外費用合計	5,429	2,857
経常利益	460,857	747,765
税金等調整前中間純利益	460,857	747,765
法人税、住民税及び事業税	131,944	235,664
法人税等調整額	102	△4,770
法人税等合計	132,046	230,894
中間純利益	328,811	516,871
非支配株主に帰属する中間純利益	8,124	8,823
親会社株主に帰属する中間純利益	320,687	508,048

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	328,811	516,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,489	192,679
その他の包括利益合計	65,489	192,679
中間包括利益	394,300	709,550
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	386,176	700,727
非支配株主に係る中間包括利益	8,124	8,823

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	460,857	747,765
減価償却費	103,650	112,387
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,437	6,555
修繕引当金の増減額（△は減少）	3,750	3,750
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△10,143	△246
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,412	△5,851
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△15,139	△8,415
受取利息及び受取配当金	△47,755	△58,752
支払利息	109	109
売上債権の増減額（△は増加）	△149,848	170,737
棚卸資産の増減額（△は増加）	25,833	△333,364
仕入債務の増減額（△は減少）	29,653	274,515
未払金の増減額（△は減少）	19,311	△31,996
未払消費税等の増減額（△は減少）	50,472	△33,733
その他	△25,142	△28,520
小計	456,457	814,941
利息及び配当金の受取額	45,155	58,987
利息の支払額	△109	△109
法人税等の支払額	△108,253	△178,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,250	695,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	－
定期預金の払戻による収入	300,000	－
有価証券の償還による収入	300,000	700,000
有形固定資産の取得による支出	△82,593	△159,932
無形固定資産の取得による支出	△1,200	－
投資有価証券の取得による支出	△925,111	△300
投資有価証券の売却及び償還による収入	300,000	－
保険積立金の積立による支出	△11,574	△11,468
保険積立金の払戻による収入	20,000	－
その他	119	217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400,359	528,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額（△は増加）	△384	△150
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,367	－
リース債務の返済による支出	△4,076	△3,866
配当金の支払額	△48,014	△47,582
非支配株主への配当金の支払額	△3,010	△2,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,851	△54,563
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△66,960	1,169,697
現金及び現金同等物の期首残高	3,472,339	4,161,365
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,405,379	5,331,062

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）２
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,034,483	51,335	4,085,818	－	4,085,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	4,034,483	51,335	4,085,818	－	4,085,818
セグメント利益	356,921	22,654	379,575	－	379,575

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、イサム土地建物㈱が行っている不動産賃貸業であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）２
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,345,556	51,318	4,396,874	－	4,396,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	4,345,556	51,318	4,396,874	－	4,396,874
セグメント利益	637,140	22,702	659,842	－	659,842

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、イサム土地建物㈱が行っている不動産賃貸業であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。